

予算決算委員会会議記録

1. 日 時	令和3年12月14日（火）9：26～10：51
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	園田依子、安井博幸、原田豊彦、前田えり子、上田英樹、隅田雅春、足立義則、向井千尋、大西基雄、栗山泰三、渡辺拓道、大上和則、小島政行、森本富夫
4. 欠席議員	河南克典
9. 協議事項	<p>議案第74号 令和3年度丹波篠山市一般会計補正予算（第15号）</p> <p>議案第75号 令和3年度丹波篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）</p> <p>議案第76号 令和3年度丹波篠山市介護保険特別会計補正予算（第2号）</p> <p>議案第77号 令和3年度丹波篠山市水道事業会計補正予算（第2号）</p> <p>議案第78号 令和3年度丹波篠山市下水道事業会計補正予算（第2号）</p>
10. 議事の経過	<p>園田委員長 挨拶</p> <p>園田委員長 開議宣告</p> <p>9：26 開議</p> <p>総務文教分科会座長報告</p> <p>■議案第74号 令和3年度丹波篠山市一般会計補正予算（第15号）</p> <p>渡辺座長より報告（別添参照）後、質疑応答。</p> <p style="text-align: center;">＜主な質疑応答等＞</p> <p>大西委員 スクールバス管理事業に関し、多紀方面のスクールバスが当初予定していた14人乗りから29人乗りになったということで、分科会会議記録には、金額などが載っていないのでわからないのですが、スクールバスは結構高額だと思います。そうであれば、補正予算ではなく当初予算に計上されなかったのか。子どもが何人ふえるかぐらいは事前に把握できると思うのですが、そういった質疑等あったのでしょうか。</p>

渡辺座長

今回のスクールバス管理事業については、減額で補正予算が提案されており、子どもの人数が増えたことに伴う新たな予算の提案ではありません。

担当課からは、今田地区のスクールバスについては、当初、定員45人バスを予定していたが、運行経路の見直しにより定員29人に変更したことによる減額。また、多紀地区については当初、定員14人バスを予定していたが、転入生があり乗車定員を超えるため、定員29人バスに変更し増額となったが、総額で785万4千円の減額となったとの説明があり、精査による補正予算の提案です。

予算の範囲内での執行であり、事前に所管委員会としても報告を受けていますので、御理解いただけたらうれしいと思います。

民生福祉分科会座長報告

■議案第74号 令和3年度丹波篠山市一般会計補正予算（第15号）

■議案第75号 令和3年度丹波篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

■議案第76号 令和3年度丹波篠山市介護保険特別会計補正予算（第2号）

向井座長より報告（別添参照）後、質疑応答。

＜主な質疑応答等＞

隅田委員

地域振興費について、全議員に協定の締結の状況、要望の中身を知ってもらう必要があるということで、全員協議会が民生福祉分科会からの要望で開催されました。私がちょっと残念に思ったのは、市当局からの説明はありましたが、民生福祉分科会側から、分科会の思いというものを、その場で概略を説明してもらうのが、本来の筋だったのではないかと思います。その辺りについて正副委員長はどのような協議をされて、全員協議会の開催となったのかお聞きしたいと思います。

向井座長

先ほど座長報告の中でも報告させていただいたとおり、この地域振興費については民生福祉分科会だけではなく、ほかの常任委員会の審査にも関わる事項なので、全員一致で、今回の協定書に基づく今後の事業展開についても説明が必要ではないかということで全員協議会に至ったところ。それを議長に申入れさせていただきまして、議長から当局に全員協議会で説明することになりました。その経緯については、議長にも説明し、副議長は分科会の委員でもありますので、それでよしとしていましたが、全員協議会のその場で説明したほうが良

かったのではないかという御意見ですので、今後は委員会の中でも協議しながら、そのようにしていきたいと思います。

安井副委員長

先ほど隅田委員の言われた件なのですけれども、私も12月8日の全員協議会に参加して、6月の全協での締結に当たる条件の説明から何ら踏み出したところがないというように感じました。何のために呼ばれたのか、この会議が開催されたのか、全く分からないというか、6月にあった説明をもう一度繰り返しただけのように感じました。私たち民生福祉以外の委員会に所属している者にとって、この全員協議会の目的は何だったのかという印象を私は持ちました。もうちょっと問題点やポイントを絞ってといいますか、何のために全員協議を開いているのかが分かるようにして欲しかったという印象です。

向井座長

6月の全員協議会で説明された内容と、12月8日の全員協議会での説明は、何が違うかということなのですけれども、6月の説明においてはあくまでも予定であったということです。なぜ、改めて開催する必要があったのかというと、その協定書を締結したという報告がないと、その後の予定も進めていくことはできないと分科会では判断しました。その協定書を締結したことを全議員が認識しておくことが必要だということで開催のお願いをさせていただきました。先ほど隅田委員も言われたみたいに、全員協議会の場で、最初にそういう説明があったほうが良かったのではないかと言われたので、今後はそういうことも、気をつけながら進めてまいりたいと思います。

足立委員

先ほどの隅田委員、安井委員のお話を聞いていまして、私も違和感があったのは、議長が全協の冒頭で全協を開催の趣旨を説明されました。ところが、執行部に全くその意図が伝わってなかったように、市長は何故、全員協議会をしなければいけないのかというような議長に物申すような発言から始められました。そのときに、やっぱり向井座長としては、ちょっと待っていただきたい、こういう理由のために、今日、全員協議会を開いているので、そのような態度ではなく説明をしていただきたい、という説明をしていただければ全委員にも分かったのだと思います。どうも議長からの全員協議会開催の意図が執行部に伝わっていなかったのではないかというような思いがしました。担当部長の最初の説明の態度も、前に説明したけれどもという態度にちょっと私も受け取りましたので、その辺の意図が伝わってなかったのが残念です。やはり、あのような態度をされますと、私達は仲間なので、分科会から提案をされたのでしたら、経緯を説明して議会の全員を庇うように座長として言っていただかないと、あれでは議長

も立つ瀬がなく、執行部は言ったままで、すぐ終わってしまい、何だったのかということになっていると思います。今後は分科会審査の1番最後に部長を呼んで、部長では埒が明かないから、全協でやるというようなことも伝えてからやるとか、なにか間に入れておかないと、どうも私は違和感があったのは事実なので、そういうところは、また今後、いろいろと努力いただきたいと思います。

向井座長

隅田委員、安井委員、足立委員から詳しくなぜかというのをおっしゃってくださったので良く分かりました。

上田副座長

今、3名の委員さんがおっしゃられたことは、私もそのとおりに思っております。全員協議会の場で委員会と言うべきだったと今、反省をしております。今回、全員協議会というところに行ったのは、ちょっとこの場での説明となり、後からとなり大変申し訳ありませんが、6月の全協の中では予定が示されていまして。今回、分科会審査の中で、協定書に基づいたもので行うということと、口頭だけでこれとこれとをやりますというような説明でしたので、それでは分からないので書類を示してもらえないかということで、今回示された書類にて協定書と、そして全体の計画が示されました。その中に、民生福祉だけでなく、道路舗装を市が直接行うものも示されましたので、これは全体で行うべきもので、民生福祉常任委員会だけでは無理ということでした。今回の地域振興事業の中で、地域振興助成金1503万9000円は、清掃センターがやるということですが、維持補修費43万円は、地域整備課が直轄でやるという予算でしたので、今回、お願いをしたところです。そして、分科会が終わった後、副市長、財政、担当部署に議長室に来ていただいて、このような趣旨で、全員協議会をお願いしたいということを議長、副議長、そして正副委員長が入ってお願いをしました。そのことが、ちょっと理事者に伝わっていなかったということでした。ちょっと今のは、言い訳かもしれませんが、今日、委員からおっしゃっていただいたとおりに、冒頭に委員長、副委員長で、きちつと言うべきだったということで私も反省をさせていただきました。今後そのような方向でさせていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

渡辺委員

コミュニティ施設の管理費に関して質問させていただきたいと思っております。今回は雲部コミュニティ施設のトイレ改修というような予算だったと思っておりますけれども、当初、非常に老朽化が進んでいる施設を地域活性化の拠点として使っていくというようなことで、市のほうも条例を設けて地域活性化を図っているわけですが、い

かんせん、どの施設についてもかなり古い施設ですので、やはりどの施設も、今回のトイレだけでなく、いろんな課題が今後も出てくるのではないかと考えています。以前も雨漏りの話もあったということも伺っています。そういった中で、現時点で、その施設を市の施設としてどう維持管理していくのかという計画的なものは、各施設の担当のほうで持っているという中で、今回の改修ということになったのか、それとも、計画はなく、取りあえず応急的に対応しようというようなものであったのか、その辺りについてももう少し御説明願えたらうれしいと思います。

向井座長

雲部のトイレの改修費について、計画などの中に、どういうふうに位置づけられているのかなどの質疑はありませんでした。ただ、民生福祉分科会の委員からは、その場しのぎみたいな修理を重ねていても、また同じような事になるので、もっと長期的な計画を立てて進めてくださいというような意見が出ております。今後も注視しながら審査していきたいと思います。

渡辺委員

どの施設も地域の活動をされるには、ちょっと大きい施設ばかりであって、なかなか今後の維持管理についても市としても大きな課題になっていくのではないかと考えておりますので、きちりとした各施設の長期的な計画をまず作ってもらって、場合によっては本当に、ここはもうある程度、整理していくというようなことも含めた中で、ぜひとも、先を見据えた計画のもとで、いろんな改修を行っていただきたいと思います。また委員会のほうでも注視願えたらと思います。

向井座長

ありがとうございます。今年、所管事務調査で3つの指定管理施設を回っております。その中で、委員も感じてはいますが、やはり老朽化が進んで修繕しないといけないところもいっぱいあるという地元の要望も実際あります。それをどういうふうな形で、どこまでできるのか委員会の中でもしっかり注視していきたいと思います。

栗山委員

関連質問みたいになって申し訳ないのですが、雲部の施設について、利用状況はかなり良いように聞いていますが、ただ地元の方、市内の人の利用が今後の課題だというような考察がありましたが、それについて委員会ではどんなような意見があったのでしょうか。

向井座長

そのことについては、先日の本会議の1日目で所管事務調査の報告させていただきました。栗山委員が言われたとおり、そこは課題と考えています。カフェの利用者は増えてはいますが、なかなか地元の人利用がなかったり、地元を巻き込んだ事業を出来ないことは課

題であると地元で活動されている方も思っていると思いますので、その辺も、委員会の審査の中でも注視していきたいと思います。

産業建設分科会座長報告

■議案第74号 令和3年度丹波篠山市一般会計補正予算（第15号）

■議案第77号 令和3年度丹波篠山市水道事業会計補正予算（第2号）

■議案第78号 令和3年度丹波篠山市下水道事業会計補正予算（第2号）

栗山座長より報告（別添参照）後、質疑応答。

<主な質疑応答等>

隅田委員 水道事業会計補正予算の管路整備の件ですが、県が舗装工事を県道ではなく国道を優先したいということで、400メートルから254メートルに変更し減額するとのことですが、当初予算を計上する際に県と協議していると思いますが、突然国道の整備に変えますとなったのか、どのように県と協議をして、市の管路の整備を進めていこうとしているか、その辺りの説明は、あったのでしょうか。突然、今回国道の補修をするので変更して欲しいというような形で、毎回こういうふうな対応をしているのでしょうか。その辺り、もう少し計画的に検討、情報交換を行い、何年度にはこのぐらい整備するという計画を組んでいくと思うのですが、その辺りはどういう説明どうだったのでしょうか。

栗山座長 県と市とで協議行いを行い、事業を進めているという報告も受けています。今回の減額については、県が国道を重点的に舗装工事するという方針をしめされたため、工事区間が短くなっているというような説明でした。

隅田委員 県は、今回国道の補修を優先したいという意向でしたが、特別な理由があるという説明は、あったのでしょうか。

栗山座長 市からの説明では、県の方針変更についてそれ以上の説明はございませんでした。

議員間討議

園田委員長 討論表決に入る前に、全体を通して何か御意見はありませんか。異議がある場合、市長に確認しておきたい事項がありましたら、あげていただきたいと思います。何か御意見はありませんか。

足立委員 先程の民生福祉分科会の件で、運営上のことで、皆で確認しときたいのですが、予算決算委員会から各委員会に付託し、各委員会審査が

あり、そこで問題があつて疑義がある場合ですが、今回は全員協議会という形で執行部からの説明を受けるという形になりましたが、全員協議会は御存じのとおり報告を受けるだけで、質疑する場でも何でもありません。各分科会で何か疑義があつた場合は、予算決算委員会の委員長、副委員長に委ねて、予算決算委員会の全体会で行えば、もっと質疑も出来たし、向井委員長からもこうなつたいきさつについての話が出来たと思います。だから、この予算決算委員会で一旦受け、各分科会に付託した案件について、全員協議会で報告させたことがおかしいのではないのでしょうか。今後、予算決算委員会で受けたもので、何かあつた場合は、予算決算委員会の全体会を開いてすれば、もう少しスムーズだつたのではないかと思っています。どうして全員協議会だつたのかというのが、もう一つ腑に落ちていないので、今後はそういうことを事務局も含めて、予算決算委員会で各分科会に付託した場合は、予算決算委員会の全体会に戻すというやり方が正しいのではないかなと思ひました。もし、皆さんそうだなと思うのであれば、今後そういうふうになれば、もっとスムーズに行くのではないかなと思ひました。

園田委員長 そのことについて、私もしっかりと理解させていただきます。足立委員からの意見に対して皆さん、何か御意見がありましたらお受けいたします。

安井副委員長 足立議員の言われたことは正論だと思いますし、そうすべきだと思います。

森本委員 先ほどから御指摘をいただいている件に関しまして、議会運営上、非常に皆さん方に御迷惑をかけたことを深くおわびを申し上げるところでございます。私も、民生福祉分科会に出席させていただいておまして、少し状況を報告しますと、余りにも担当部署が、説明が出来なかつた。あれ、議長に報告していませんでしたかという話までありまして、こないだ開催しました全員協議会で部長が以前報告しておつたとおりですと堂々とおっしゃつたけどそういう言葉もなかつた。ただ分科会として、詳細が知り得ない、地元との協定書を締結したという話も聞いていないのに意向確認が出来ないという形になり、今回議員の皆さん方に改めて、地域振興費について御理解をいただきたい、協定が出来たということも報告を受けてもらいたいと思ひまして全員協議会を開催したところでございます。市長が、冒頭の挨拶で冒頭にバーンとおっしゃいましたので、反論しようかと思ひましたが、反論をしたらさらに反論が来て、みっともないことになつたらいけないと思ひてそのまま進行させていただきました。お忙しい中、皆さん方に

わざわざお集まりをいただいて、すぐ終わってしまったというような状況で何やったのかというように3人の議員からも意見をいただきました。今回の件について反省をしておりますし、もし各分科会で疑義があるなら、予算決算委員会で解決をしていくというような方向性で今後進めていきたいと思っておりますので、お詫びを申し上げまして御理解をいただきたいと思っております。

園田委員長 それでは予算決算委員会としても、しっかりと分科会審査の内容も把握しながら、今後取り組んでまいりたいというように、私も反省をしておりますのでよろしくお願いいたします。

園田委員長 他何かご意見はありませんか。

意見なし

それでは今回は、市長への確認質問はなしとします。

休憩 (10:30～10:50)

討論・表決

議案第74号 令和3年度丹波篠山市一般会計補正予算（第15号）

議案第75号 令和3年度丹波篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

議案第76号 令和3年度丹波篠山市介護保険特別会計補正予算（第2号）

議案第77号 令和3年度丹波篠山市水道事業会計補正予算（第2号）

議案第78号 令和3年度丹波篠山市下水道事業会計補正予算（第2号）

— 討論なし、全員賛成 —

園田委員長 委員会の審査報告については、委員長にご一任願いたいと思っておりますが、御異議ありませんか。

— 異議なし —

園田委員長 本日の会議は会議記録については、事務局に調製させ、委員長、副委員長において内容確認を行いたいと思っております。ご一任願いたいと思っておりますが、御異議ありませんか。

— 異議なし —

安井副委員長 挨拶

園田委員長 散会宣告

10:51 散会